

第17回 今年も「善福寺川 水鳥一斉調査」を行いました!!

【水鳥一斉調査の目的】

現在の善福寺川の自然を知ること、区民の皆さんにもっと善福寺川に注目してもらうことを目的に、善福寺川でどんな水鳥が、どこで、どれくらい利用しているかを一斉に調べる、

「善福寺川 水鳥一斉調査」を実施しました。水鳥以外の鳥もあわせて調べました。

＜実施日＞ 令和7年1月12日(日)10:00~11:30 (区民参加調査)
1月12日(日)10:00~12:00 (専門家調査)

【調査の方法】

区民の皆さんと善福寺川の自然を再確認する＜区民参加による水鳥調査＞と、善福寺川全域の水鳥の利用状況を把握する＜専門の調査員による水鳥調査＞を行いました。

＜調査ルート＞



＜区民参加による水鳥調査＞

善福寺公園コース（善福寺公園）、善福寺川緑地コース（仲よし広場～尾崎橋）、和田堀公園コース（尾崎橋～和田堀池）において、善福寺川流域の小学校の児童とともに、鳥に詳しい先生の解説を受けながら、善福寺川を利用する鳥について観察し、種類や個体数を記録しました。



＜専門の調査員による水鳥調査＞

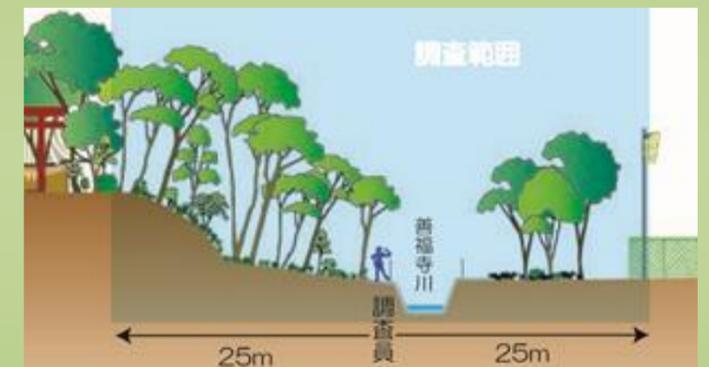
善福寺川を6区分し、それぞれの区間に約2kmの調査ルート（A～F）を設定、各ルートに出現する鳥類の確認を同時間一斉に実施しました。

調査は、一定の速度で2時間歩き、ルート上の幅50m（片側25m）の範囲に出現する鳥類の種類、個体数、諸行動について記録しました。

各ルートについて、Aルートは池の周辺に樹林や植栽帯、池内にヨシや低木が点在しています。B・Cルートは住宅地内、D・Eルートは緑地内をそれぞれ川が流れて、Fルートは住宅地からビル街にかけて川が流れています。



池があるAルート



善福寺川沿いに緑地が広がるD・E・Fルート



専門の調査員による調査風景

今年の水鳥調査参加小学校

◇参加小学生による調査記入シート

小学生による調査では、善福寺川で見られる鳥の絵が描かれた調査シートを用いて、今回見られた鳥の数を「正」の字を使って記入していきます。

コース名	学校名	お名前
区民参加による水鳥一斉調査 集計表	小学校	
調査日：令和7年1月12日		

鳥の名前	見た数の合計	鳥の名前	見た数の合計
アオサギ	正正正正正正正正正正	カイツブリ	
アオジ	正正正正正正正正正正	カルガモ	
アカハラ	正正正正正正正正正正	カワウ	
ウグイス	正正正正正正正正正正	カワセミ	
エナガ	正正正正正正正正正正	カワラヒワ	
オオタカ	正正正正正正正正正正	キジバト	
オオバン	正正正正正正正正正正	キセキレイ	
オカヨシガモ	正正正正正正正正正正	キンクロハジロ	
オシドリ	正正正正正正正正正正	ゴイサギ	
オナガ	正正正正正正正正正正	コガモ	
オナガガモ	正正正正正正正正正正	コガラ	
		コサギ	

◇今年の参加小学校

第17回を迎える今年は、小学校17校127名の生徒さんと、その保護者の方々121名の合計248名が参加しました。また、12名の解説員の先生に協力いただきました。

調査コース	参加小学校	参加人数	解説員	☆補助解説員
善福寺公園	井荻 桃井第三 杉並第一 桃井第四 桃井第一 桃井第二	小学生：44名 保護者：43名	谷口 高司 氏 谷口 律子 氏 西村 真一 氏 安西 英明 氏	橘 淳子 氏 荒川 裕美 氏
善福寺川緑地コース (仲よし広場～尾崎橋)	杉並第二 杉並第七 西田 堀之内	小学生：36名 保護者：33名	井上 耀右 氏 渡辺 博重 氏 六車 貴美子 氏	後藤 明美 氏 後藤 悦夫 氏 宮本 早苗 氏
和田堀公園コース (尾崎橋～和田堀池)	大宮 方南 済美 松ノ木 浜田山 和田 東田	小学生：47名 保護者：45名	石原 美鈴 氏 真柳 元 氏 佐々木 幹夫 氏 石原 武 氏 伊藤 晴康 氏	森島 美紀子 氏 近藤 正喜 氏 桜井 聡 氏 大野 篤子 氏 川口 達也 氏
計	17校	小学生：127名 保護者：121名		

☆補助解説員…すぎなみ地域大学「水鳥等調査・解説員育成講座」の修了生。
将来、解説員としてご活躍いただくために研修の一環としてご参加いただきました。

◇今年の参加小学校の位置図

今年も善福寺川流域の小学校（17校）に参加いただきました。



◇解説の状況



センダンの実を食べるヒヨドリが集まっています。何羽いるのか数えてみましょう。

この木は秋に実がなるアキニシ。冬になるとカワラヒワがよくこの実を食べています。



鳥の羽根が散らばっています。タカがハトを襲った痕跡かもしれません。

緑色のアオゲラと、小鳥サイズのコゲラの2種類のキツツキが同じ木にとまっています。



たくさんの虫を食べるシジュウカラは、生態系のバランスを保つ、役割を担っています。



キンクロハジロは、頭の羽がチョコっと出て目立つのがオスです。

区民参加による水鳥調査の結果

◇調査結果(確認した鳥と数)

今年の調査では、カルガモが最も多く見られた「水鳥」でした。

「水鳥以外」では、ヒヨドリ、ドバト、ムクドリなどが多くみられ、一部でモズ、アオゲラ、オオタカも観察できました。

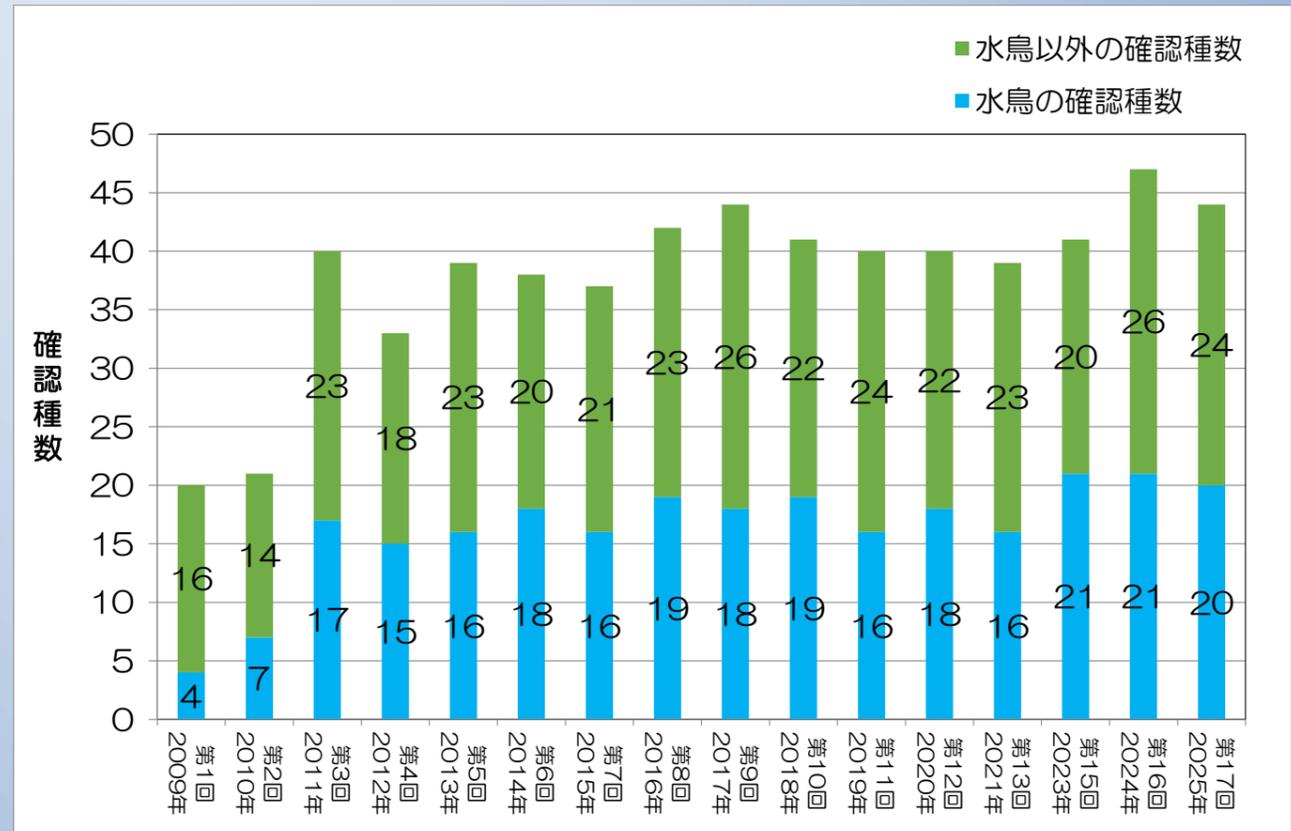
	善福寺公園コース	善福寺川緑地コース	和田堀公園コース
各コースで多く見られた上位3位の水鳥と確認数	 カルガモ (1~38羽)	 カルガモ (1~25羽)	 カルガモ (2~29羽)
	 キンクロハジロ (1~31羽)	 キンクロハジロ (2~12羽)	 キンクロハジロ (2~17羽)
	 ヒドリガモ (1~26羽)	 マガモ (1~6羽)	 コガモ (1~15羽)
その他水鳥	アオサギ (1~5) オオバン (1~7) オカヨシガモ (1) オナガガモ (1~6) カイツブリ (2~15) カワウ (1) カワセミ (1~4) キセキレイ (1~2) ゴイサギ (1~7) コガモ (1~3) コサギ (1~5) ハクセキレイ (1~7) パン (1~2) ホシハジロ (1~7) マガモ (1~12)	アオサギ (1~2) オシドリ (2) カワウ (1~3) カワセミ (1~2) キセキレイ (1~2) ゴイサギ (1~4) コガモ (1~2) コサギ (2~4) ハクセキレイ (1~5) ハシビロガモ (2) ホシハジロ (5)	アオサギ (1~8) オオバン (1) カイツブリ (6) カワウ (1~5) カワセミ (1~3) キセキレイ (1~5) ゴイサギ (1~4) コガモ (1~2) コサギ (1~5) ハクセキレイ (1~6) ハシビロガモ (1~2) ホシハジロ (2~13) マガモ (1~6)
種数計	18	14	16

どのコースでも「カワセミ」は観察されました

◇確認された鳥の種数の推移

今年は去年に引き続き、多くの水鳥(20種)を観察することが出来ました。

また、天気はあいにくの曇りでしたが、むしろ観察しやすく水鳥以外の鳥も24種を観察することが出来ました。



◇今年確認された主な水鳥たち



専門の調査員による水鳥調査の結果 1

善福寺川全体で 38 種類の鳥類（うち、水鳥は 19 種）を確認

- 最も多く見られた鳥は、
1位 ヒヨドリ (353羽)
2位 カルガモ (213羽)
2位 ドバト (213羽)

- 最も多くの鳥が確認されたルートは、
Eルート (尾崎橋～宮木橋) (392羽)

- 最も多くの鳥の種類が確認されたルートは、
Aルート (善福寺公園) (27種)



ヒヨドリ



カルガモ



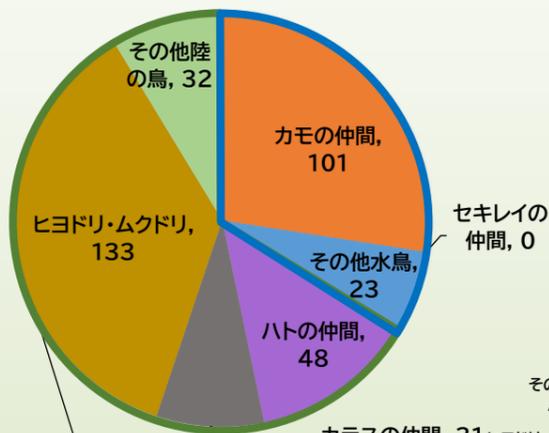
ドバト

確認された鳥の種群ごとの合計個体数(羽)

注1) グラフの値は、種群ごとの合計個体数(羽)

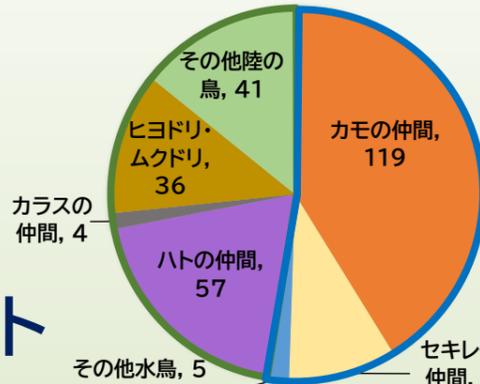
注2) 円グラフの大きさは、確認個体数の値の大きさに合わせています。

Aルート



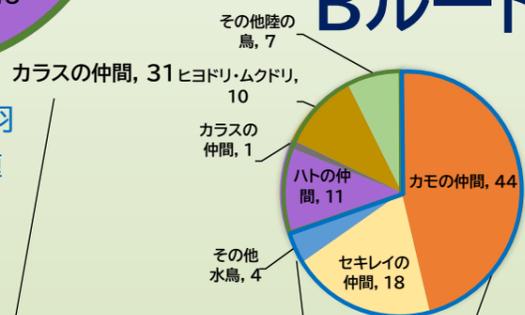
個体数: 368羽
種類数: 27種

Cルート



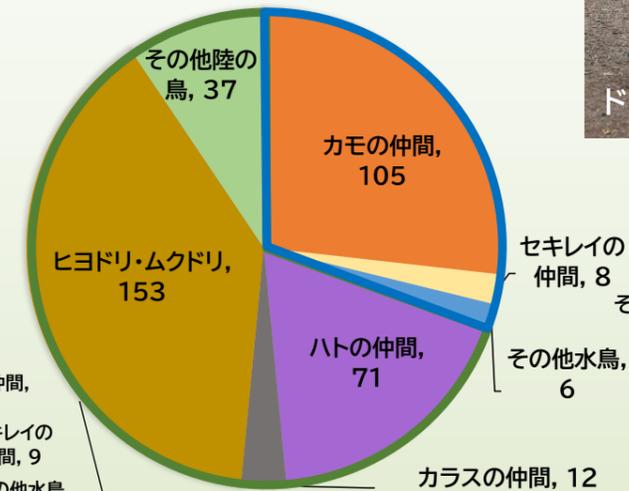
個体数: 289羽
種類数: 19種

Bルート



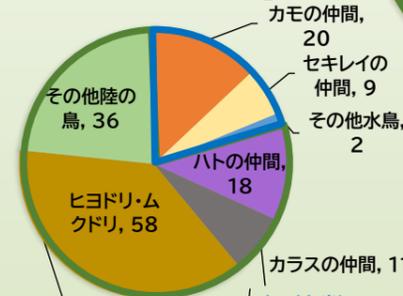
個体数: 95羽
種類数: 19種

Eルート



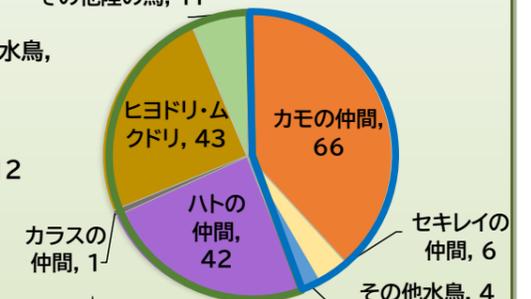
個体数: 392羽
種類数: 18種

Dルート



個体数: 154羽
種類数: 23種

Fルート



個体数: 173羽
種類数: 15種



専門の調査員による水鳥調査の結果 2

◇善福寺川における17年間(17回調査)の「水鳥」の確認状況



17回の調査で
確認された回数

Aルート

Bルート

Cルート

Dルート

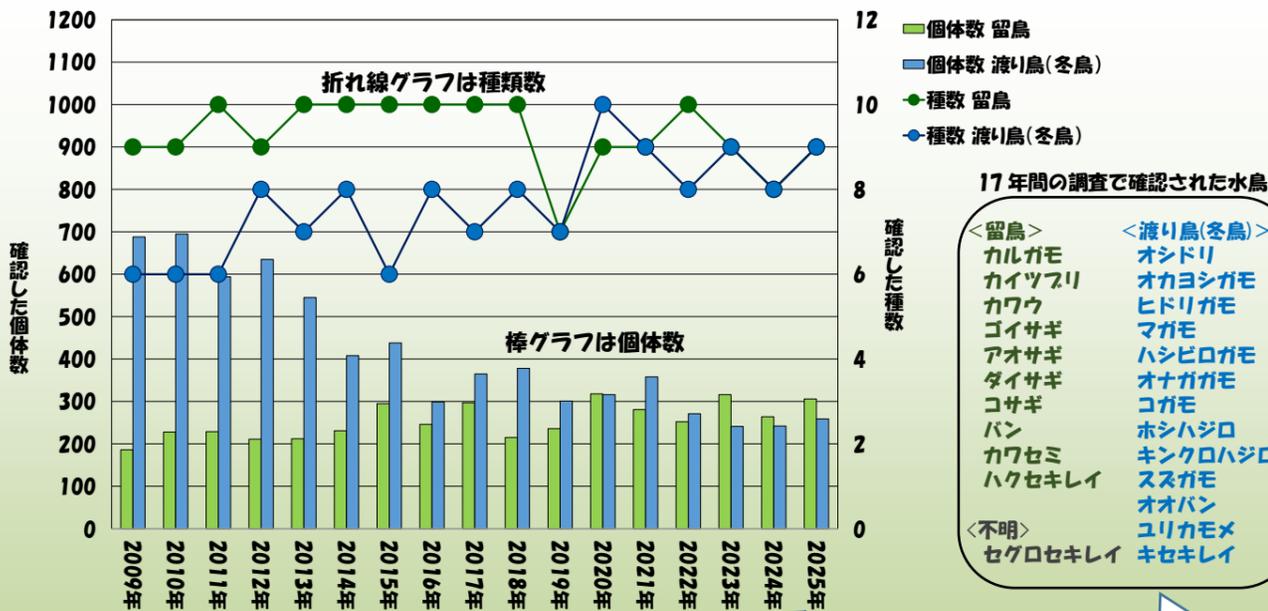
Eルート

Fルート

確認された回数	Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
11~17回 ほぼ毎回観察 される水鳥						
6~10回						
3~5回						
1~2回 観察は 稀な水鳥						
確認された種類数	21種類	16種類	20種類	12種類	14種類	11種類

専門の調査員による調査結果 3 (17年間の調査のまとめ)

◇水鳥における渡り鳥と留鳥の確認状況の変化

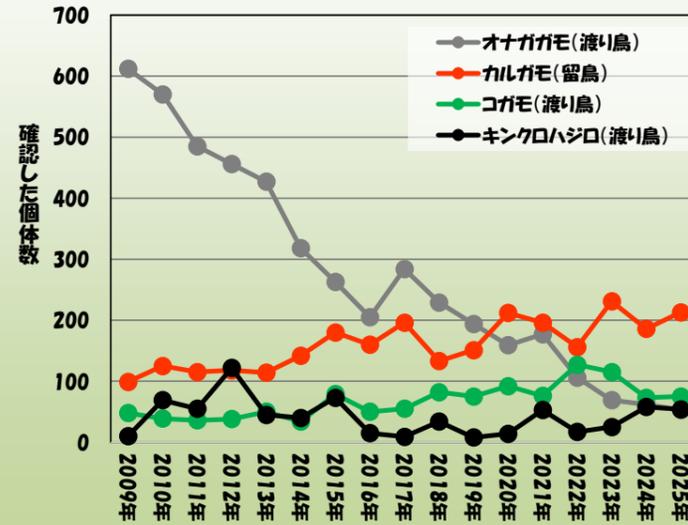


冬の時期にみられる善福寺川の水鳥は、2019年頃まで、渡り鳥が種類と個体数ともに多かったのですが、その後、渡り鳥が徐々に減少し、一方、留鳥は少しずつ増え、最近では種類も個体数もほぼ同じ程度を確認数となっています。

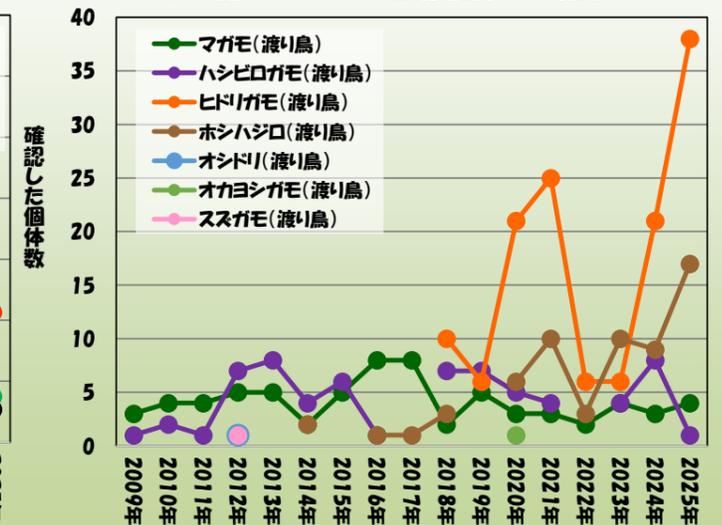
鳥は、一年中その場にいる留鳥と定期的に長い距離を移動する渡り鳥に分けられます。

渡り鳥の個体数は、気候変動や繁殖地の環境変化などに影響を受けます。オナガガモに着目すると、2009年には約600羽も確認されていましたが、毎年のように個体数が大きく減少しています。一方、カルガモやコガモは少しずつですが、個体数が増え、2020年にカルガモが、2022年にはコガモがオナガガモに逆転しています。突出したオナガガモの確認個体数が大きく減少したのは、かつて多く見られた餌やりがなくなったことが大きな要因と言われています。生きものとの望ましい関わり方の理解が進んだものとも考えられます。

主なカモ類の確認個体数の推移



その他のカモ類の確認個体数の推移



◇善福寺川と杉並区全域の確認種の比較

17回の冬の調査で、善福寺川では約50種類もの鳥を確認することが出来ました。このうち、水鳥は24種類(雑種等を除く)で、一部種類は異なりますが、杉並区全域で確認されている水鳥(25種類)とほぼ同数であることがわかりました。水鳥以外の鳥についても、杉並区全域で観察される鳥の種類の半分以上を観察できることがわかりました。

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1
水鳥	カモ	カモ	オシドリ	冬鳥	●	●
			オカヨシガモ	冬鳥	●	●
			ヒドリガモ	冬鳥	●	●
			マガモ	冬鳥	●	●
			カルガモ	留鳥	●	●
			ハシビロガモ	冬鳥	●	●
			オナガガモ	冬鳥	●	●
			コガモ	冬鳥	●	●
			ホシハジロ	冬鳥	●	●
			キンクロハジロ	冬鳥	●	●
			スズガモ	冬鳥	●	●
			マガモ×カルガモ	不明	●	●
	カルガモ×オナガガモ	不明	●	●		
	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	●	●
			カワウ	留鳥	●	●
			ゴイサギ	留鳥	●	●
			アオサギ	留鳥	●	●
			ダイサギ	留鳥	●	●
			チュウサギ	留鳥	●	●
	ツル	クイナ	パン	留鳥	●	●
			オオバン	冬鳥	●	●
			チドリ	留鳥	●	●
			シギ	留鳥	●	●
	フッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥	●	●
セキレイ			留鳥	●	●	
スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	留鳥	●	●	
		セグロセキレイ	不明	●	●	
計(雑種は除く)				24	25	

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1
水鳥以外の鳥	ハト	ハト	キジバト	留鳥	●	●
			ツツドリ	留鳥	●	●
	カモ	カモ	カモ	留鳥	●	●
			アマガモ	留鳥	●	●
	タカ	タカ	トビ	不明	●	●
			ツミ	不明	●	●
	キツツキ	キツツキ	アオタカ	留鳥	●	●
			コガラ	留鳥	●	●
	ハヤブサ	ハヤブサ	チヨウゲンボウ	不明	●	●
			カササギヒタキ	留鳥	●	●
	カラス	カラス	カケス	不明	●	●
			オナガ	留鳥	●	●
	シジュウカラ	シジュウカラ	ハシボソガラス	留鳥	●	●
			ハシブトガラス	留鳥	●	●
	ツバメ	ツバメ	ヤマガラス	留鳥	●	●
			ヒガラ	冬鳥	●	●
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	シジュウカラ	留鳥	●	●
			ウグイス	留鳥	●	●
	ムシクイ	ムシクイ	メボロムシクイ	留鳥	●	●
			エゾムシクイ	留鳥	●	●
	メジロ	メジロ	センタイムシクイ	留鳥	●	●
			メジロ	留鳥	●	●
	ヨシキリ	ヨシキリ	オオヨシキリ	留鳥	●	●
			ムクドリ	留鳥	●	●
	ヒタキ	ヒタキ	シロハラ	冬鳥	●	●
			アカハラ	冬鳥	●	●
	スズメ	スズメ	ツグミ	冬鳥	●	●
			ルリビタキ	冬鳥	●	●
	セキレイ	セキレイ	ジョウビタキ	冬鳥	●	●
			エゾビタキ	留鳥	●	●
	アトリ	アトリ	コサメビタキ	留鳥	●	●
			キビタキ	留鳥	●	●
	ホオジロ	ホオジロ	オオルリ	留鳥	●	●
			スズメ	留鳥	●	●
	キジ	キジ	ビンズイ	留鳥	●	●
			アトリ	留鳥	●	●
	ハト	ハト	カワラヒワ	留鳥	●	●
			シメ	留鳥	●	●
	インコ	インコ	ホオジロ	不明	●	●
			カシラダカ	不明	●	●
	セグロセキレイ	セグロセキレイ	アオジ	留鳥	●	●
			キジ	留鳥	●	●
	セグロセキレイ	セグロセキレイ	コジュケイ	留鳥	●	●
			カワラバト(ドバト)	留鳥	●	●
	セグロセキレイ	セグロセキレイ	ホトトギス	留鳥	●	●
			ホトトギス	留鳥	●	●
	セグロセキレイ	セグロセキレイ	ガビチョウ	不明	●	●
			ガビチョウ	不明	●	●
	計(雑種は除く)				28	52

※1「杉並区自然環境調査報告書(第7次)」調査は1985~2018年の間に10回実施。旅鳥は除く。

◇これまでの調査で確認された注目すべき種類

国や都のレッドデータブックに掲載されている種類をみると、18種類が該当しました。これらは、善福寺公園のあるAルートで最も多く、次いでCルートとEルートで多く確認しています。

目名	科名	種名	国RD※1	東京都RD※2	これまでの調査で確認された場所					
					Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		NT	●					●
		ゴイサギ		VU	●					
コウノトリ	サギ	ダイサギ		NT	●	●	●			●
		チュウサギ	NT	NT	●					
		コサギ		VU	●	●	●	●	●	●
カモ	カモ	オシドリ	DD	EN	●			●		
		ホシハジロ		VU	●	●	●	●	●	●
		スズガモ		*	●	●				
タカ	タカ	トビ		NT	●		●			
		オオタカ		EN	●				●	●
		ツミ		EN	●				●	
ツル	クイナ	パン		EN	●				●	
		オオバン		CR	●		●			
フッポウソウ	カワセミ	カワセミ		VU	●	●	●		●	
		アオグラ		EN	●			●		
キツツキ	キツツキ	アオグラ		VU	●	●	●	●	●	
		セキレイ		CR	●	●	●	●	●	
スズメ	セキレイ	セグロセキレイ		CR	●	●	●	●	●	
		モス		NT	●	●	●	●	●	
種数の合計					14	8	11	7	10	5

※1 レッドデータブック(環境省,2020)
 NT:準絶滅危惧
 EN:絶滅危惧ⅠA類
 CR:絶滅危惧ⅠB類
 VU:絶滅危惧Ⅱ類
 NT:準絶滅危惧
 *:留意種

